

ミシンの使い方

■針のとりかえかた

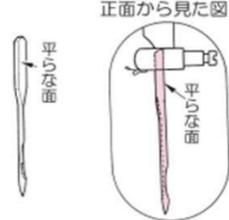
使用針：HL × 5



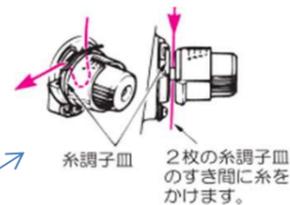
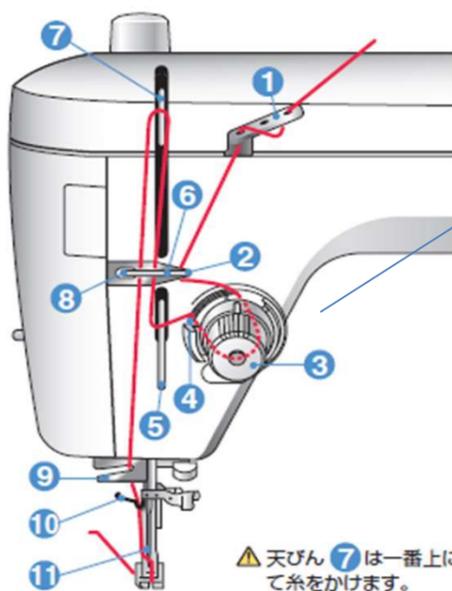
1. 押えをさげて、針棒を一番上にあげます。
2. 針止めネジをゆるめ、針をはずします。
3. 新しい針の平らな面を右側にして上につかえるまで差し込み、針止めネジを締めます。

※ HA × 1 針でも代用可能です。

正面から見た図



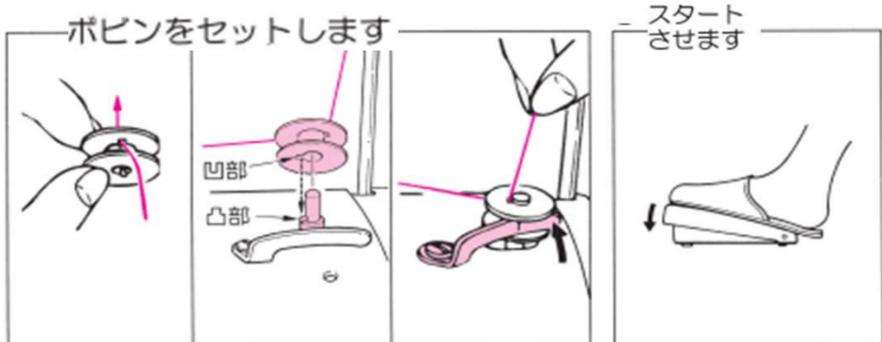
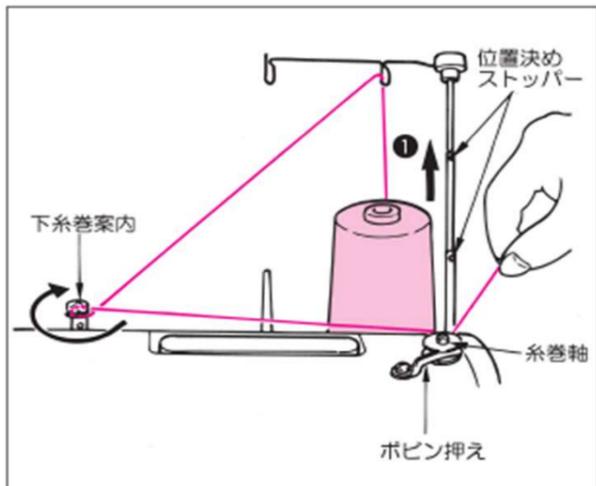
■ 上糸のかけ方



*糸調子ダイヤル⑨に糸をかけるときは、押え上げレバーを上げて糸調子皿を開いてからかけます。
*天びん⑦は一番上にして糸をかけます。

△天びん⑦は一番上にして糸をかけます。

■下糸巻きの糸のかけかた

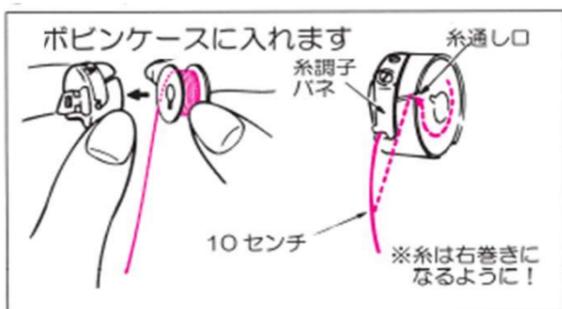


ボビンの穴へ糸を通してから糸巻軸の凸部とボビンの凹部を合わせてセットします。

ボビン押えを押しします。



巻き終わったらボビン押えを手前に戻します。

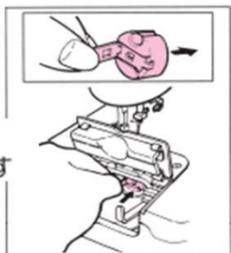


つまみを閉じて、ボビンを右巻きになるようにしてボビンケースに入れます。糸通し口に糸をすべらせて、糸調子パネの下から10センチくらい出します。

■糸調子のとりかた (下糸)

ボビンケースの糸調子は右図のように、ボビンケースにボビン(糸はポリエステルパン #60)を入れて、軽く振って徐々に落ちる程度が目安です。

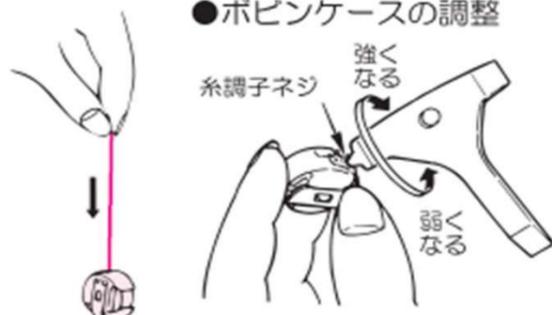
※この下糸の張力に合わせて上糸の糸調子を調節してください。



ミシンにセットします

ボビンケースをカマにしっかり奥まで差し込み、つまみを閉じます。

●ボビンケースの調整

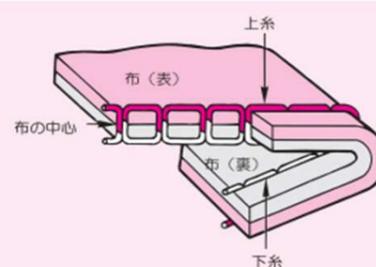


強くなる
弱くなる

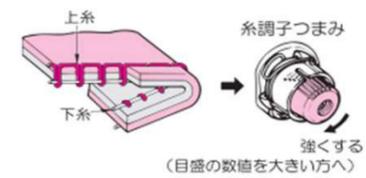
■糸調子のとりかた (上糸)

●正しい糸調子

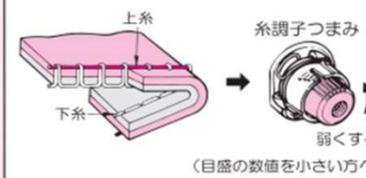
通常の糸調子は上糸と下糸のからんでいるところが布の中心です。



●上糸が弱い場合の調節



●上糸が強い場合の調節



■布地、ミシン糸、針の組み合わせ

	布地	ミシン糸	ミシン針 (HLx5)
薄地	ローン キュプラ ジョーゼット	化繊糸 #80 ~ #90	9 ~ 11 番
	スムース トリコット	化繊糸 #80 ~ #90	
普通地	ブロード ギンガム	綿糸 #60 ~ #80 化繊糸 #60 ~ #80	11 ~ 14 番
	薄手ジャージー 化繊服地	化繊糸 #50 ~ #60	
	フラノ ワール	化繊糸 #50 ~ #60 綿糸 #50	
厚地	デニム	化繊糸 #20 ~ #50 綿糸 #20 ~ #50	14 ~ 18 番
	帆布	化繊糸 #30 ~ #50	
	ツイード 人工皮革	化繊糸 #50 綿糸 #50 化繊糸 #20 ~ #30	